



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第17号
平成 29 年 9 月 14 日

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

至福を感じるとき！

本日14日（木）実施の体育祭には、ご来賓の皆様をはじめ、多数の保護者の皆様にご観覧いただくとともに、本校生徒に温かいご声援をいただき、ありがとうございました。

生徒の一人一人が、一瞬・一秒を疎かにすることなく全力で取り組む姿に、私はとても感動しました。生徒たちは、一度きりの平成29年度の体育祭を、記憶の中で永遠の宝物にしたことでしょう。そして、最上級生の雄姿を1,2年生は見逃すことなく、しっかり受け継いでくれたことだと確信しています。私を含む本校教職員の至福を保護者・地域の皆様にも共有していただけたのではないのでしょうか。

また、これからの学校生活がさらによくなることを予感しました。この体育祭で大きく成長し、強い絆を得た生徒たちは、日々の学校生活で凡事徹底し、次の大きな学校行事「文化祭」でも、私たちに至福を与えてくれることでしょう。しかし、この至福を共有いただくためには、地域や保護者の皆様のご理解・ご協力が不可欠となります。今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

※至福とは、この上もない幸せ。（デジタル大辞泉より）

【体育祭の様子】



やっぱり、すごいね！

昨日13日（水）1限目から3限目にリハーサルを実施しました。

リハーサル内の閉会式校長挨拶で、「明日の閉会式で、みなさんが体調を崩さず、ケガもせずに『終わりよければすべてよし』と思える体育祭にしてほしい」と伝えました。その真意は、結果のみを求めるものではありません。当然、先生の指示を超越したリハーサルでの取り組み等によるものです。また、体調を崩さず、ケガもせずの意図は、体育祭を終えての達成感や充実感をみなさんと共有したいと思ったからです。

リハーサルの閉会式挨拶を終え、朝礼台から一段一段降りる際に、本番の閉会式挨拶で、川中生を称賛するであろう私の姿を重ねていました。

体育祭を終えて思ったこと、それは、『川中生って、やっぱり、すごいね!』でした。

【リハーサルと準備】

